

資料11

次世代エネルギーパーク/eー市民認定システム 説明資料

第11回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市環境部 大会議室

平成26年3月20日(木)

1. 次世代エネルギーパーク (PJ3)

1 事業概要

市内の新エネルギー施設(19か所)を体験できる体制を整備し、経済産業省の「次世代エネルギーパーク」認定を受けることにより情報発信を行い、環境意識の醸成を図るもの。

2 次世代エネルギーパークとは

- (1) 経済産業省の認定制度(平成19年～)。現在56件が認定。県内では能代市、男鹿市、にかほ市
- (2) 自治体が企業等と連携して新エネルギーの見学・体験の整備を行い、国が認定して広報。

3 事業スケジュール

- 平成26年4月 (仮称) 秋田市次世代エネルギーパーク推進協議会設置
推進協議会で見学受入体制検討、地産エネルギーWGでも議論(予定)
- 8月 認定申請(経済産業省)
- 10月 認定(予定)、パンフレット・ポスター・統一看板作成
- 平成27年4月 見学者受入開始(受付窓口および解説者派遣を事業委託)
市民見学会開催(木質ペレットボイラー、メガソーラー施設等)

4 期待される効果

- (1) 「環境立市あきた」のブランドイメージ向上(PJ5)。スマートシティプロジェクトの成果を全国にPR
- (2) 将来的に施設を観光資源化し、地元農産物や環境資源と組み合わせるツアーの企画(PJ7)

2. eー市民認定システム（eー市民アクションポイント制度）

1 事業概要

家庭における温暖化対策を推進するための仕組み。家庭で環境配慮の目標を設定し、エネルギー使用量等の定期的な報告など、「環境ISO」の仕組みを家庭向けに工夫したもの。平成15年から実施。

現在約160名の市民が取組に参加して、環境省事業「うちエコ診断」と連携して、ごみの削減や節電に取り組んでいる。事業は一般社団法人あきた地球環境会議に委託して実施。

2 課題

取組が長続きしない事例が多い。評価する取組がごみの減量とエネルギーの削減のみ。

3 新制度

環境配慮行動をポイント化し、ポイントが貯まるとLED電球などの環境配慮賞品と引き替えることを可能にする制度に見直し …… eー市民アクションポイント制度

4 期待される効果

(1) 環境配慮行動にインセンティブを付与。将来的には電子地域通貨(PJ8)に向けた検討